

白岡町地域公共交通基礎調査の中間結果概要について

資料 4

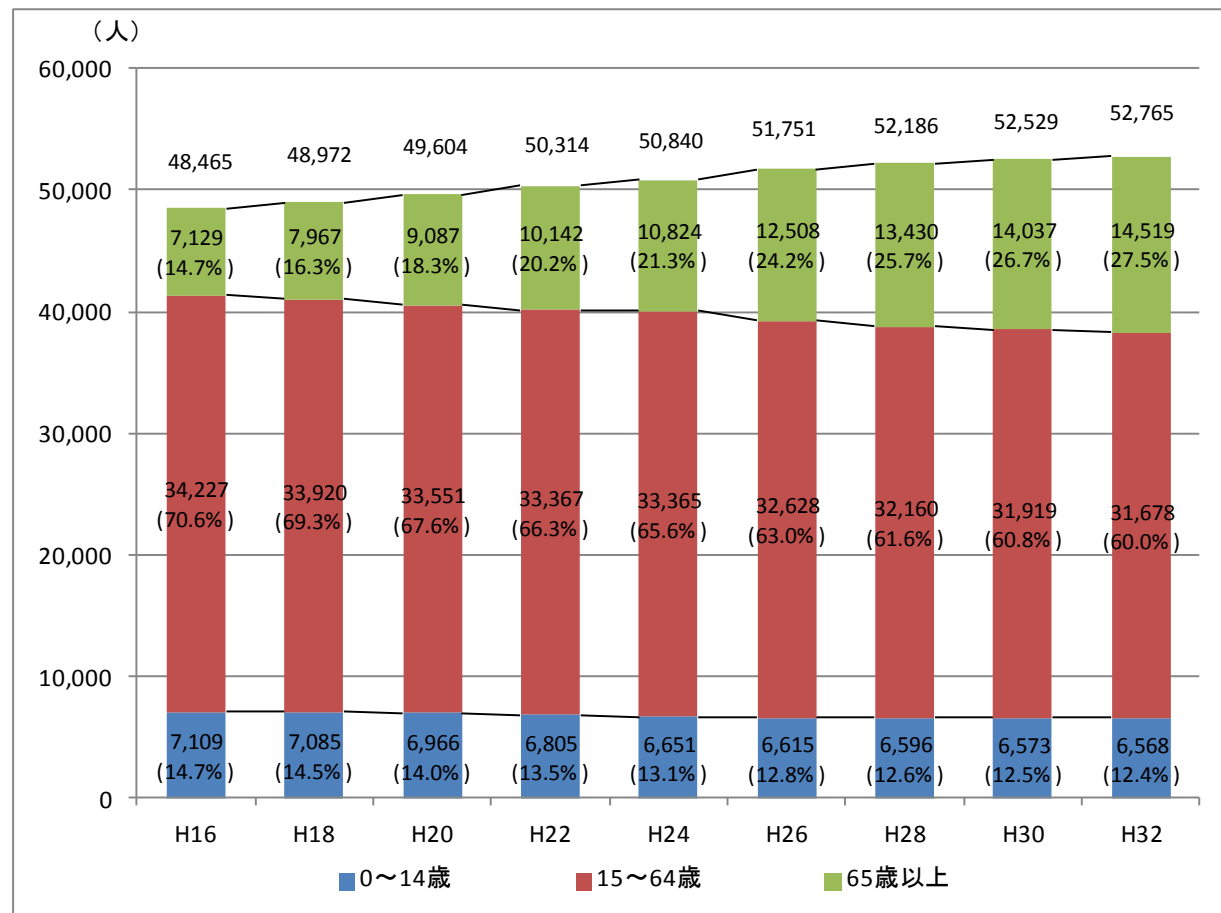
I 白岡町の概況

- 1 近年、当町の人口は微増傾向にあり、平成22年以降は5万人を超えて推移している。今後も人口の微増傾向は、続く見通しである。
- 2 一方、平成22年には高齢化率が20%を超えた。今後も高齢化の進行に伴い、高齢者人口（65歳以上）が増加し、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）は減少する見通しである。

①人口構造の変化について

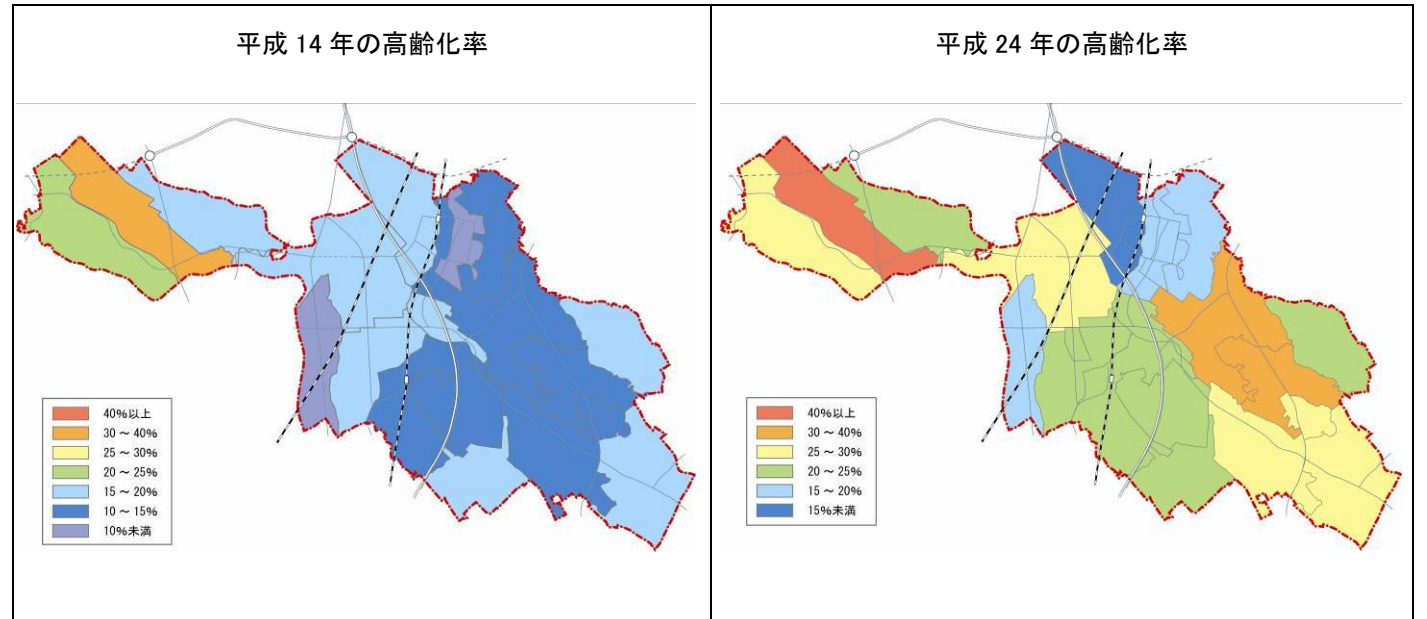
●今後も人口の微増傾向は、続く見通しである。
 高齢者人口（65歳以上）は増加し、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）は減少する見通しである。

人口の推移と今後の見通し(年齢3区分)



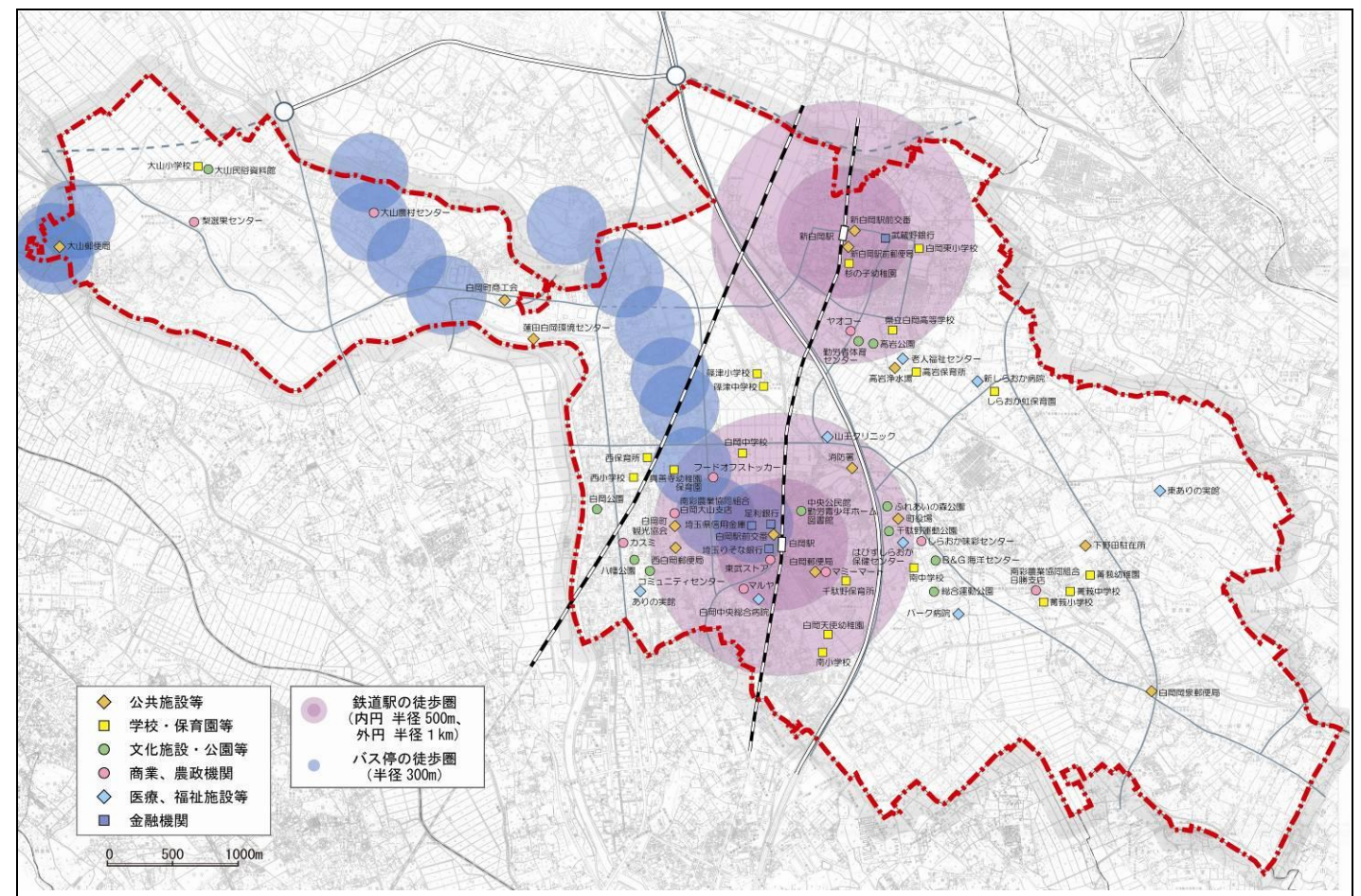
②高齢化率の推移について

●当町の高齢化率は、平成14年の約13%から平成24年には約21%となり、この10年間で約8%上昇した。



③町内の各種施設の分布と公共交通の徒歩圏について

●町内の各種施設は、町の中央部に多く分布しているが、一部の施設は公共交通の路線から離れて位置している。

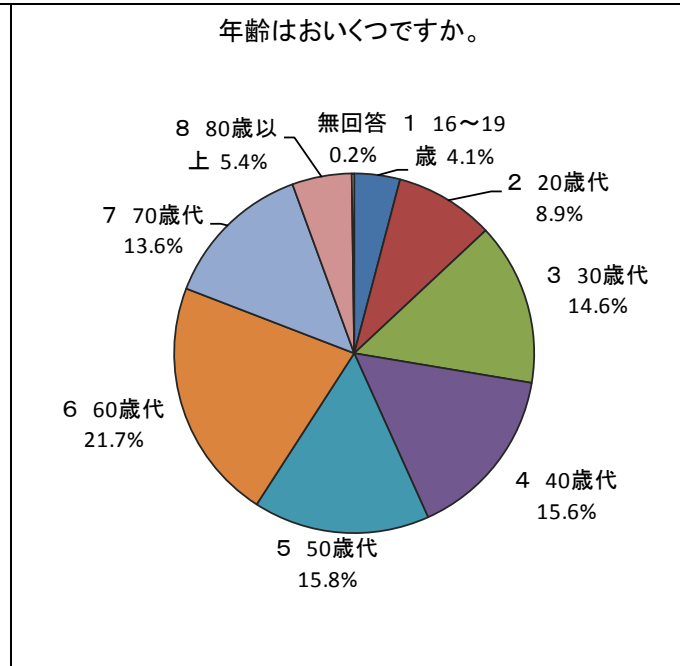
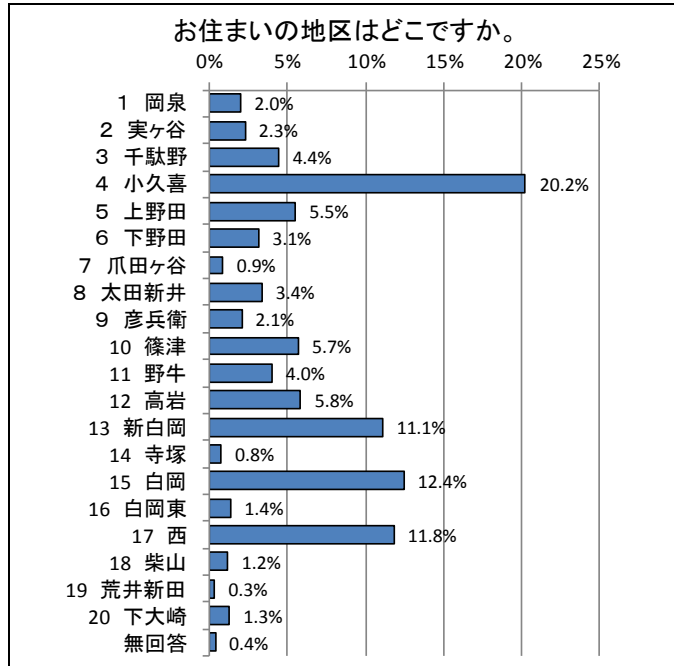


II 郵送アンケート調査

調査目的	町民の移動実態及び公共交通等の利用状況等を把握するため。
調査手法	郵送によるアンケート調査
対象者	16歳以上の町民を対象に無作為に3,000人を抽出
調査期間	平成24年6月15日(金)～平成24年7月6日(金)
回収数(率)	1,849票(61.6%)

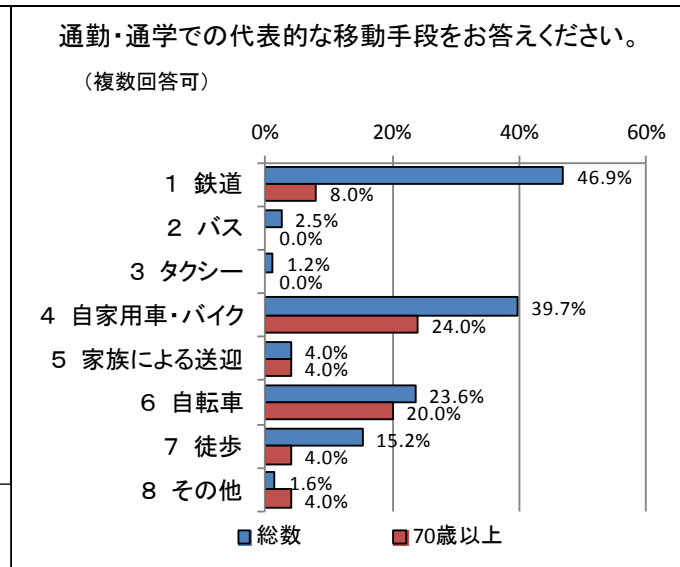
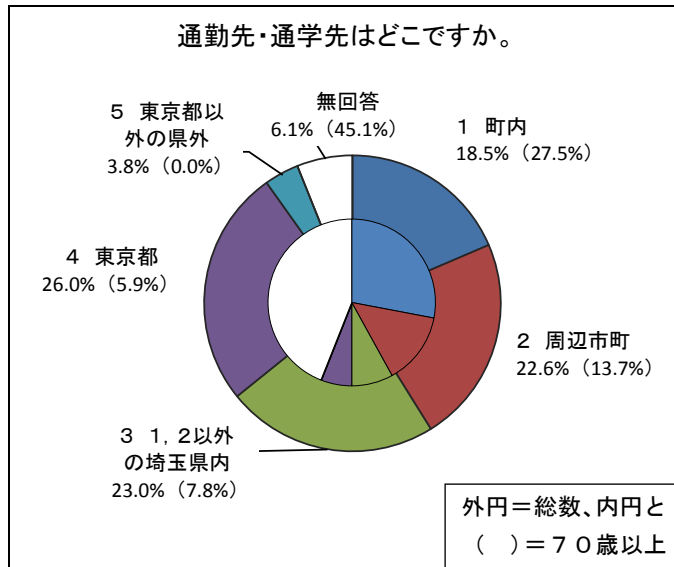
①回答者の属性について

●回答者の属性は、概ね当町の人口構造(地区、年齢)と同様の構成比を示している。



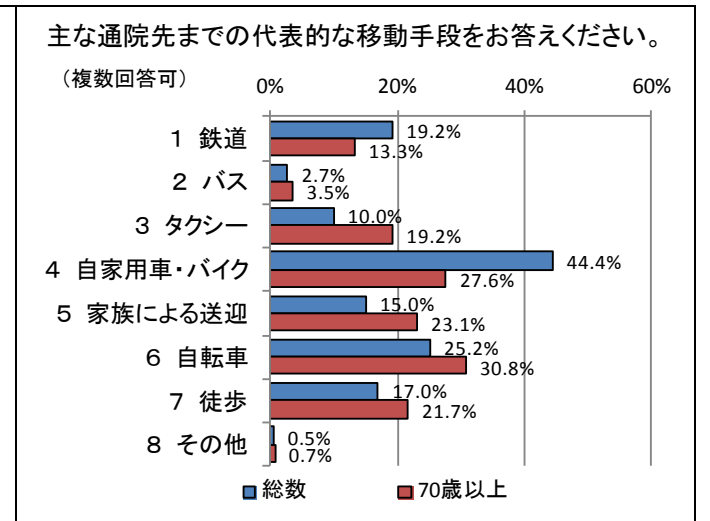
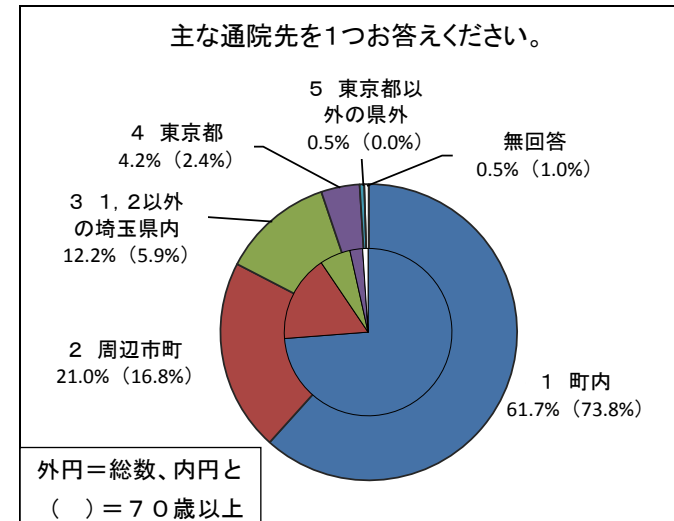
②通勤・通学について (n=1,089)

●総数における通勤・通学先は、東京都が最も多く、70歳以上の高齢者の通勤等の移動先は町内の割合が高くなっている。



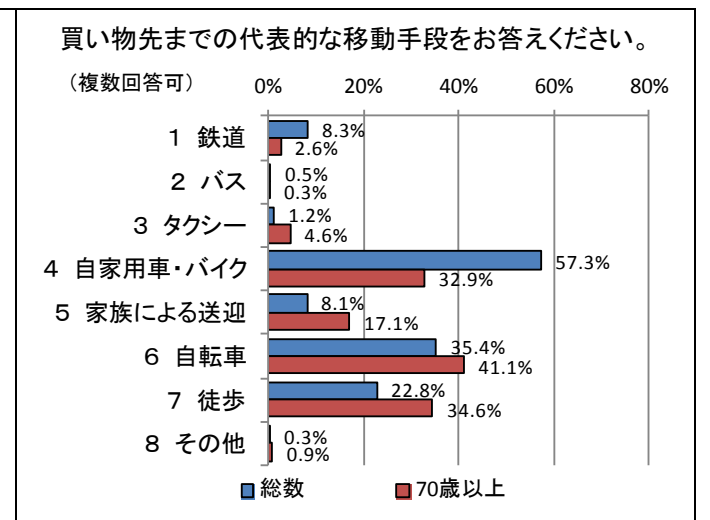
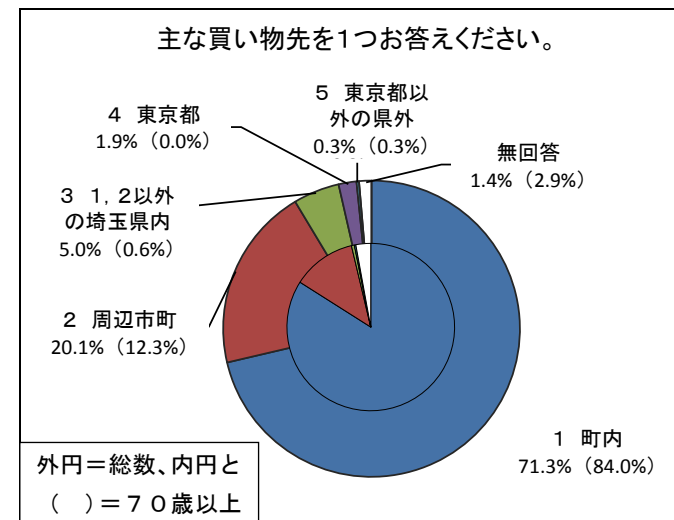
③通院について (n=811)

●総数と70歳以上の高齢者とも町内の医療機関への通院が最も多く、また、70歳以上の高齢者の移動手段は自転車が増える傾向にある。



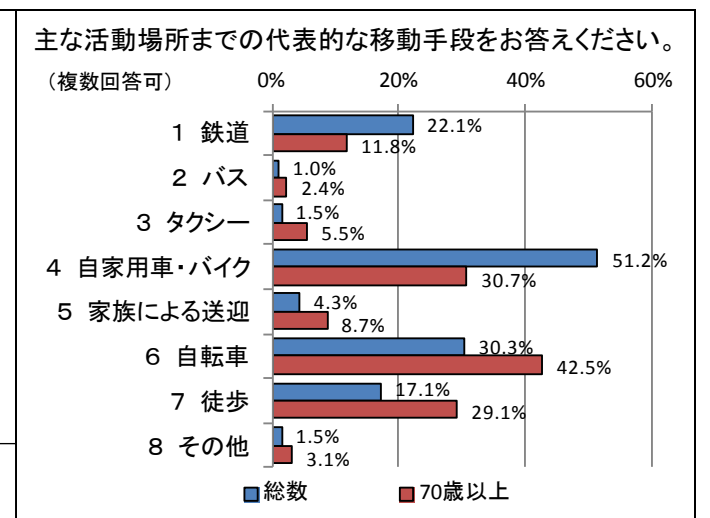
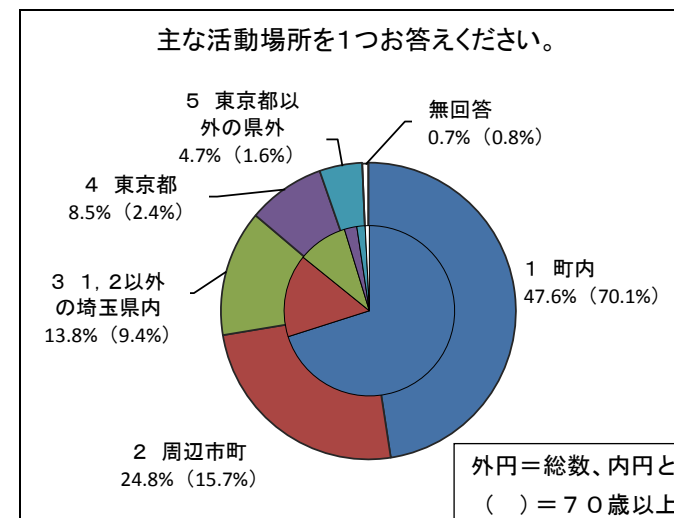
④買い物について (n=1,849)

●総数と70歳以上の高齢者とも町内の買い物先が最も多く、また、70歳以上の高齢者の移動手段は自転車と徒歩が増える傾向にある。



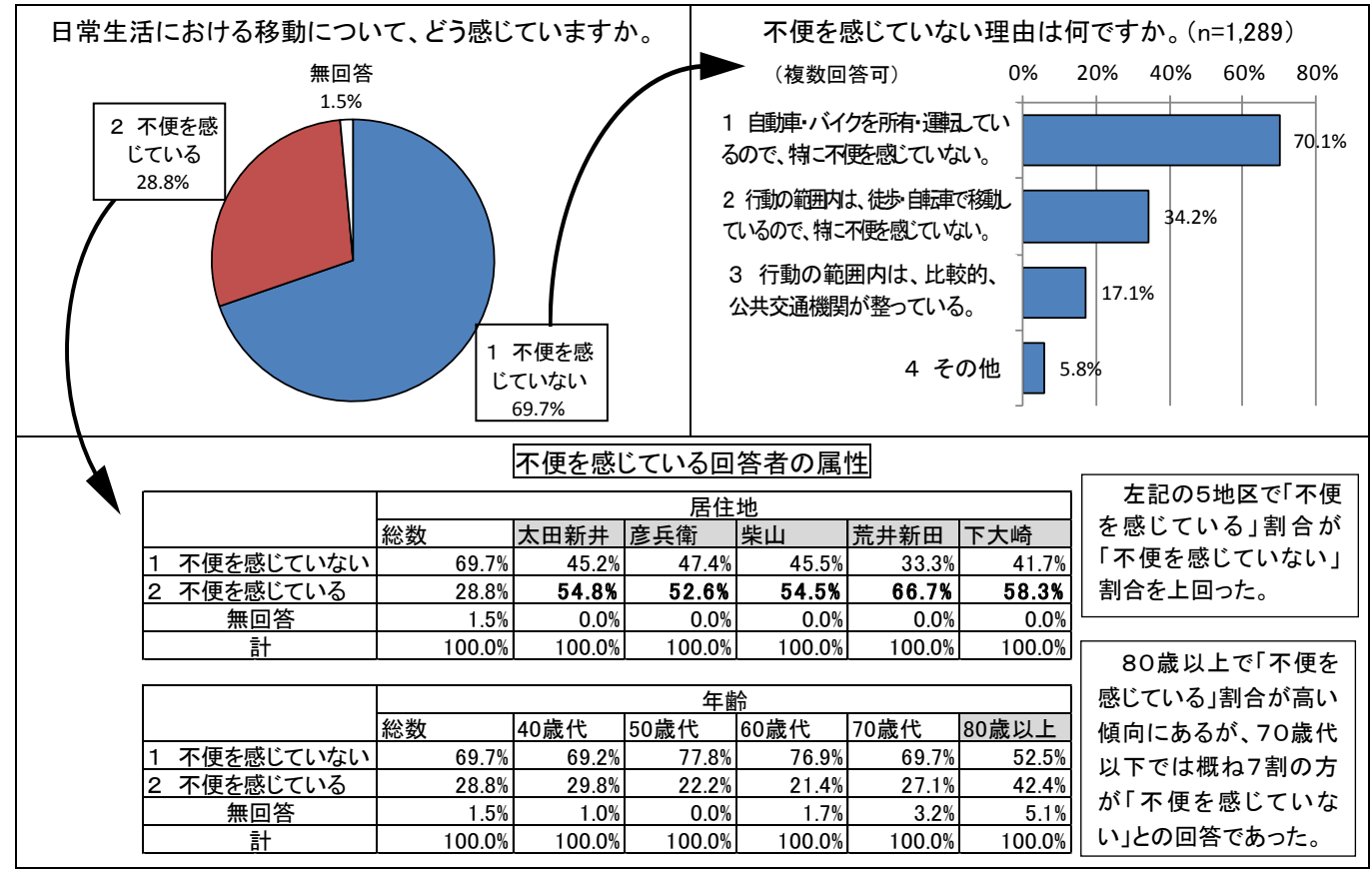
⑤趣味やサークル活動について (n=601)

●70歳以上の高齢者の趣味等の移動先は、町内の割合が高くなり、移動手段は自転車が増える傾向にある。



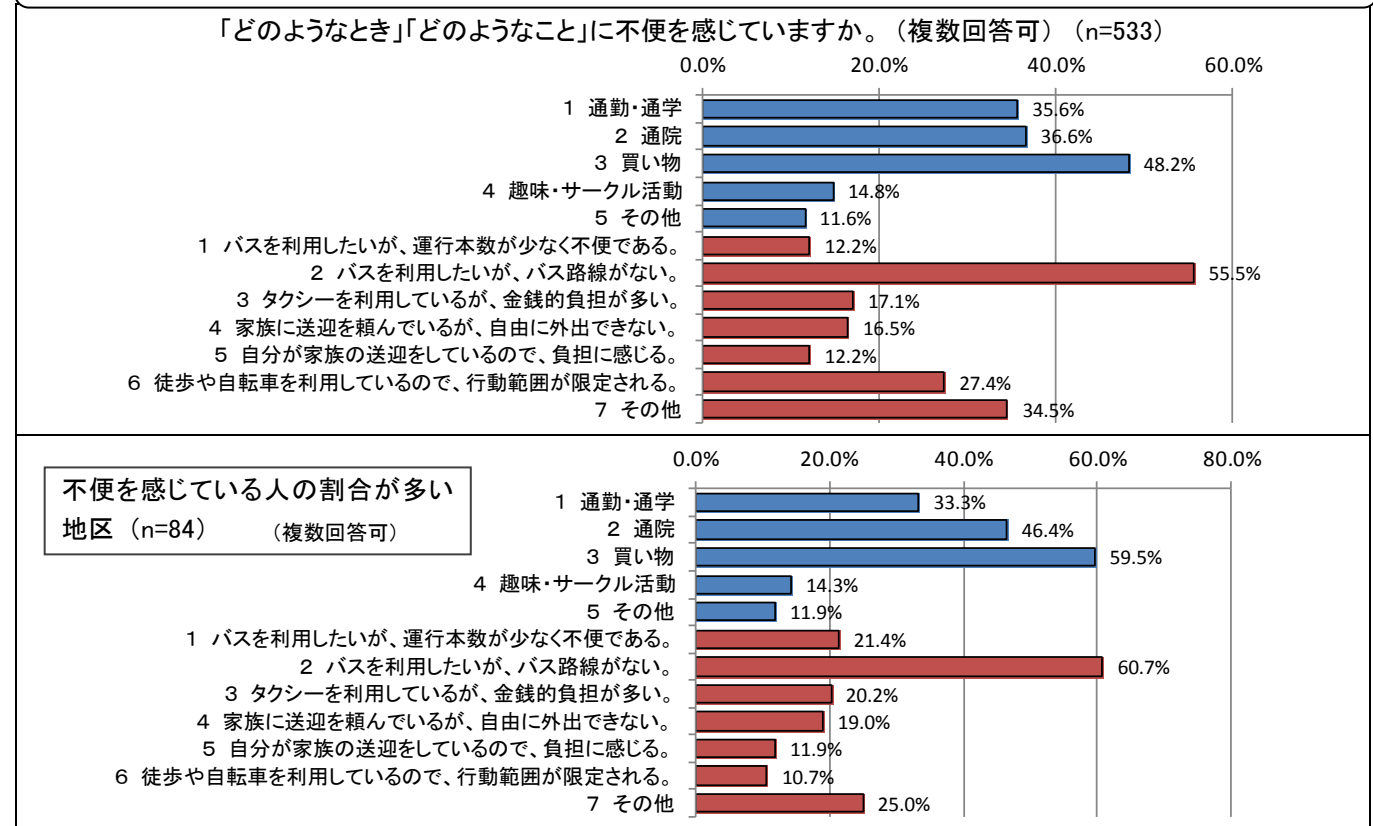
⑥日常生活における移動について

●日常生活における移動について約3割の方が「不便を感じている」との回答であった。



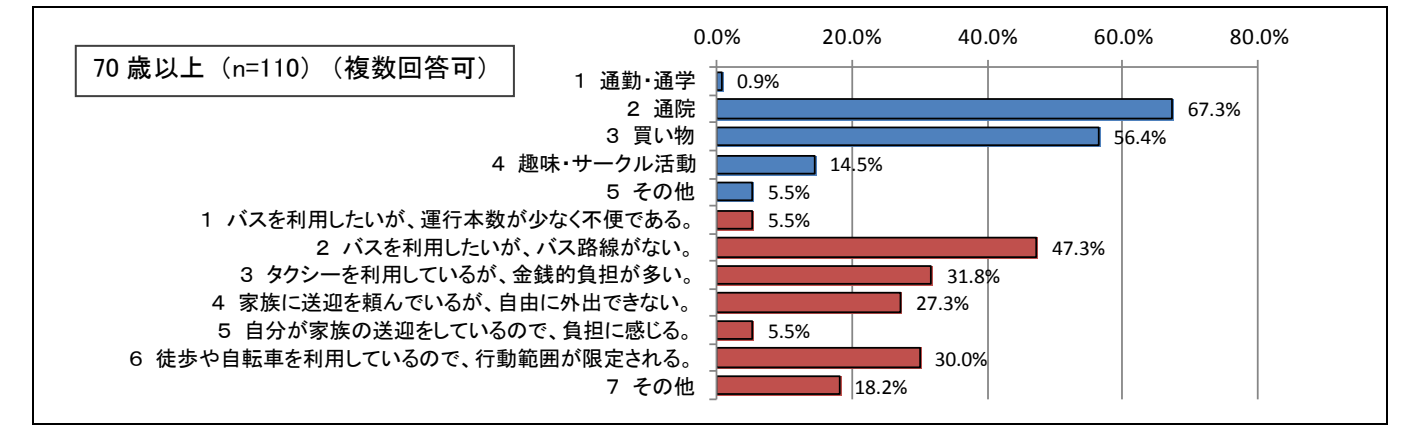
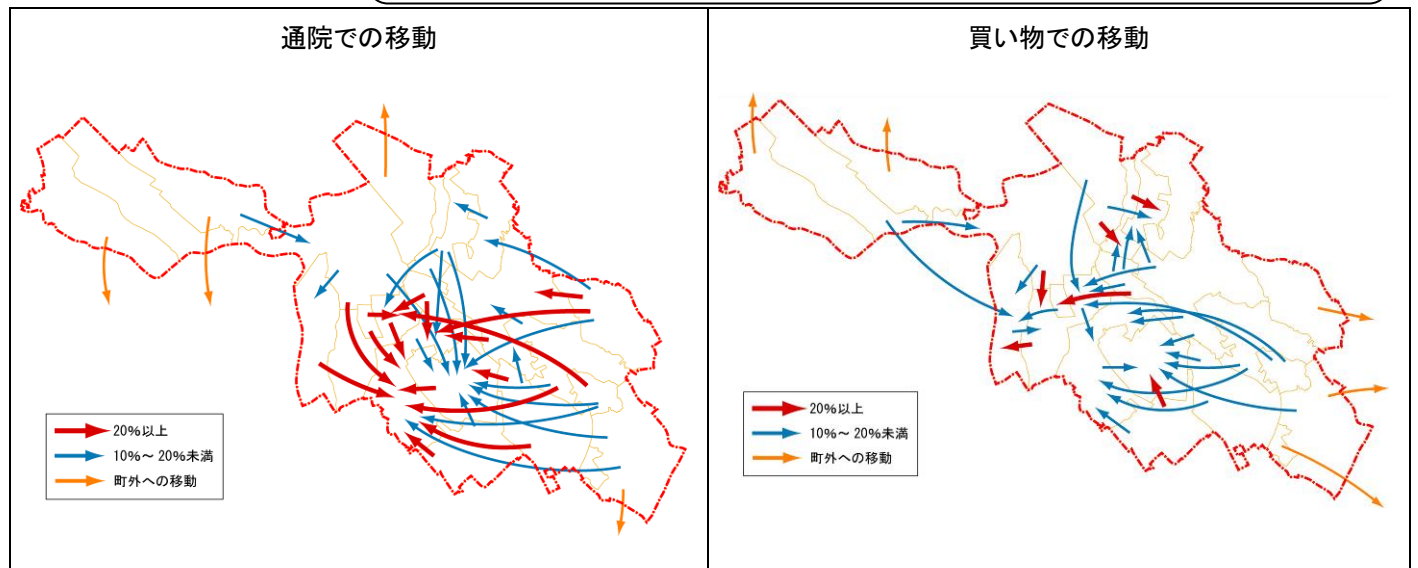
⑦日常生活の移動に不便を感じている理由について

●約3割の「不便を感じている」との回答の方は、買い物、通院、通勤・通学に「不便を感じている」回答の割合が高く、バスを利用したいがバス路線がないことなどを主な理由に挙げている。



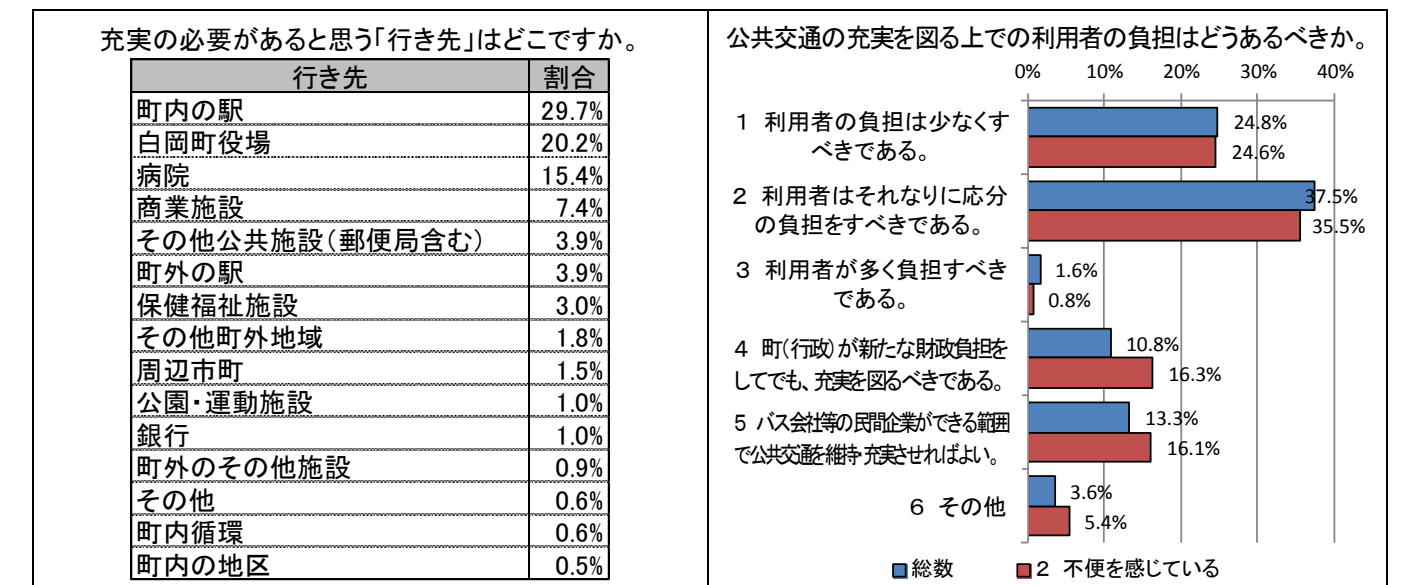
⑨地区間の移動について

●通院では、町の中央部に位置する医療機関への移動の割合が高く、また、買い物においても移動の距離は比較的短いものの、町の中央部に位置するスーパーマーケットへの移動の割合が高い傾向にある。



⑧今後の公共交通のあり方について

●今後、充実の必要があると思う「行き先」は、駅、町役場、医療機関などの回答の割合が高かった。また、公共交通の充実を図る際には、利用者はそれなりに応分の負担をすべきであるとの回答の割合が比較的高い傾向にある。

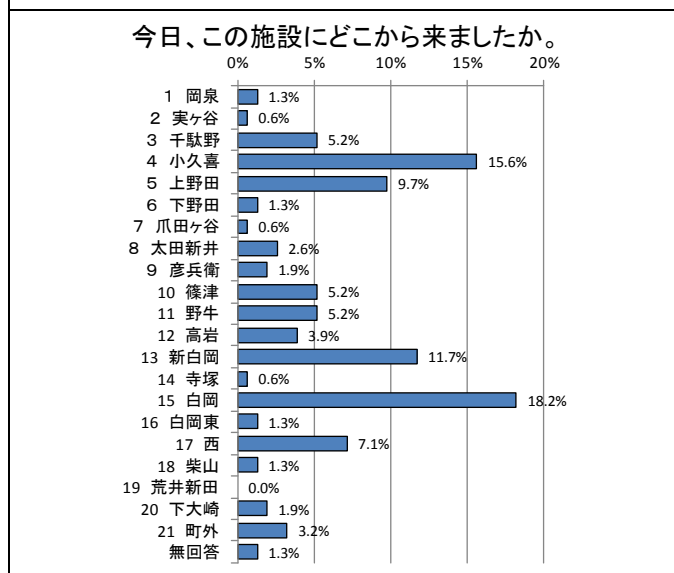
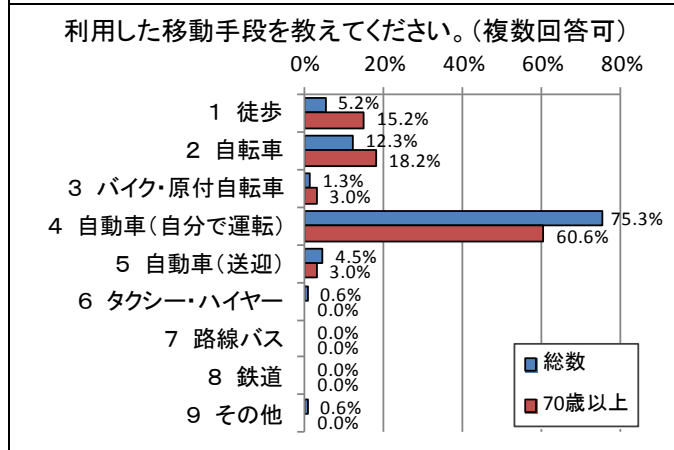
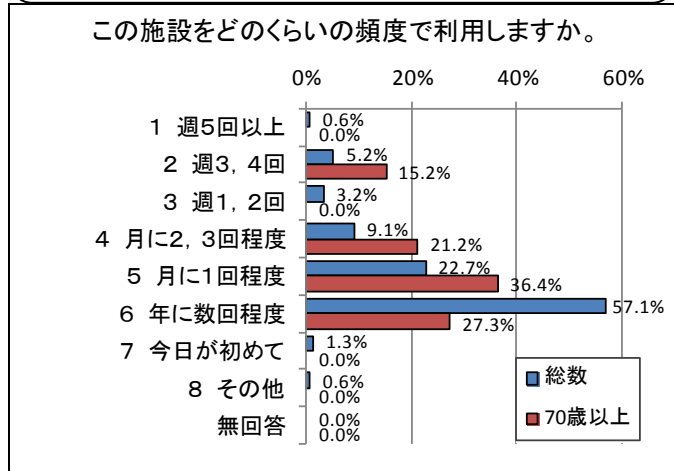


Ⅲ 施設利用者ヒアリング調査

調査目的	主要施設における町民の移動実態把握のため。
調査手法	施設の利用者への聞き取り調査
対象施設	白岡町役場、白岡郵便局、白岡中央総合病院、埼玉りそな銀行白岡支店
調査期間	平成24年7月3日(火)～平成24年7月9日(月)
回収数	対象施設の順に、154票、153票、152票、152票 計611票

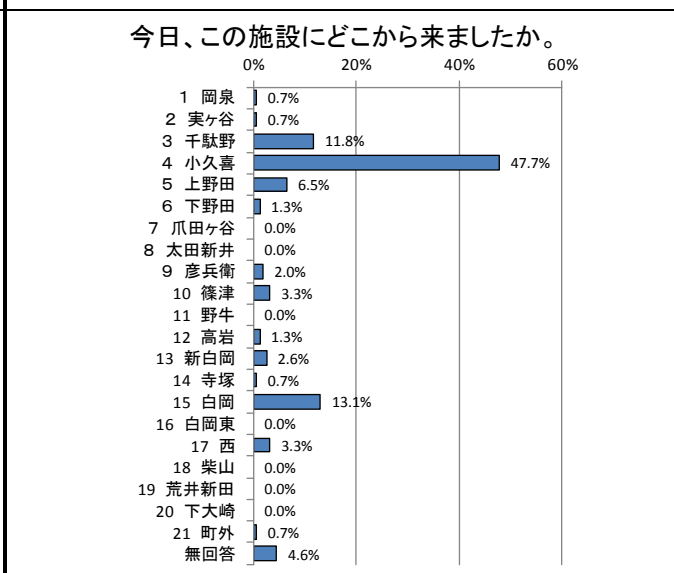
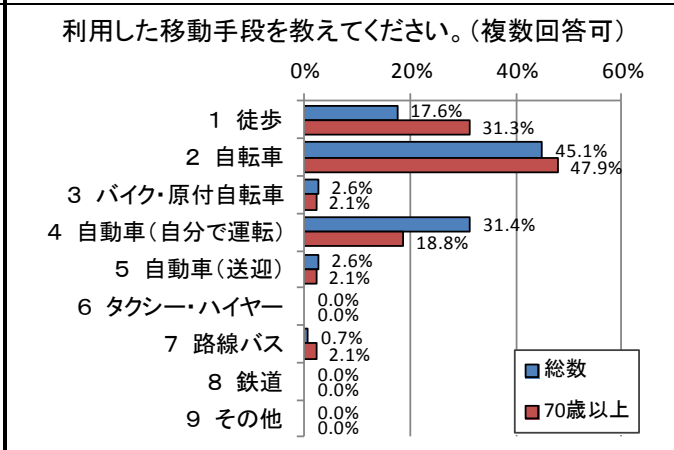
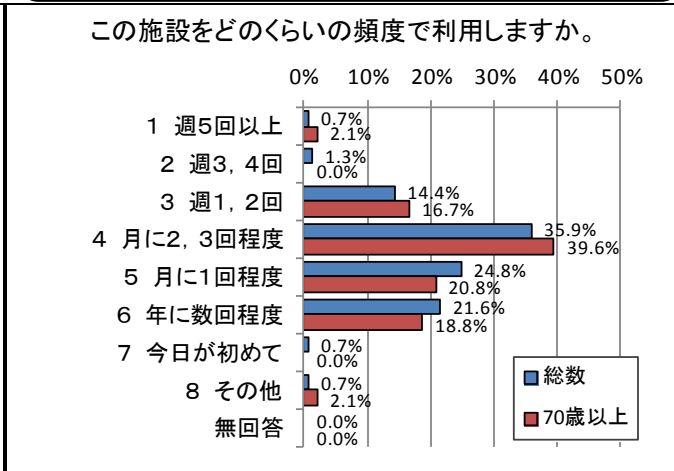
①白岡町役場

●白岡町役場は「年に数回程度」自動車を利用するとの回答の割合が高く、70歳以上の高齢者においては「月に1回程度」自動車を利用するとの回答の割合が高かった。



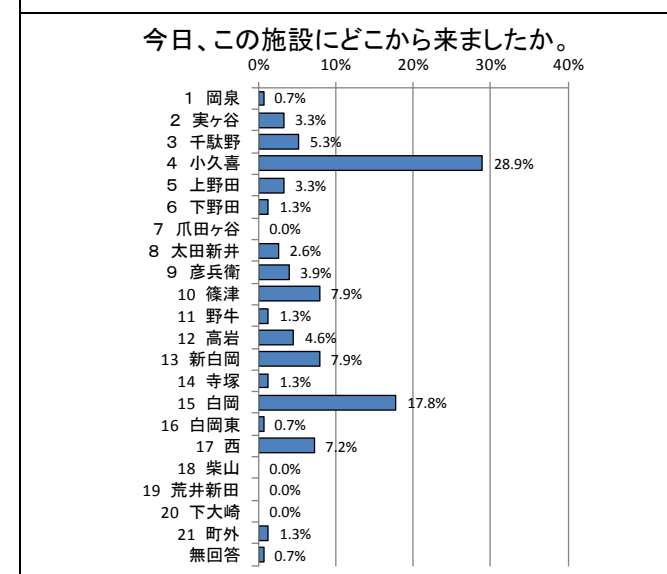
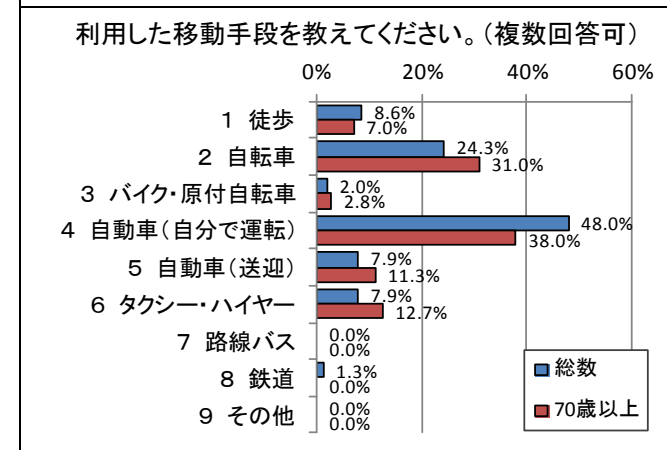
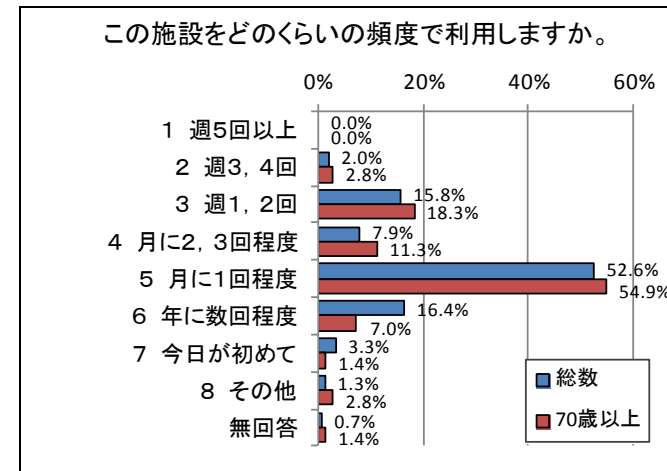
②白岡郵便局

●白岡郵便局は「月に2, 3回程度」自転車を利用するとの回答の割合が高く、70歳以上の高齢者においてもほぼ同様の回答であった。



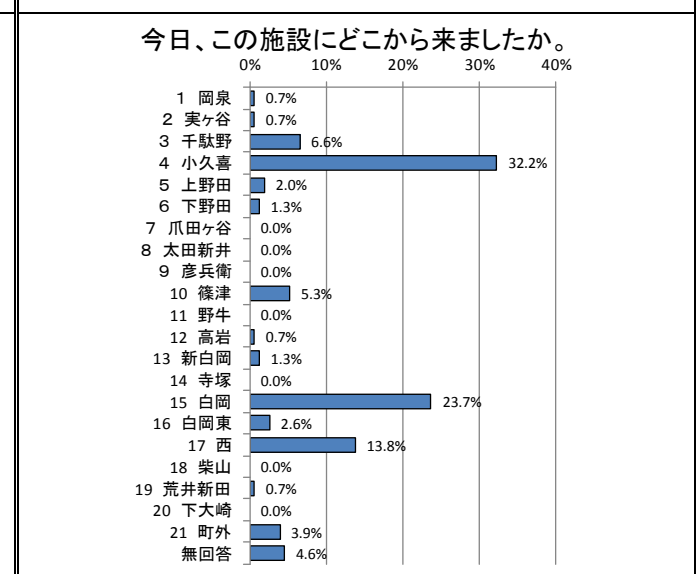
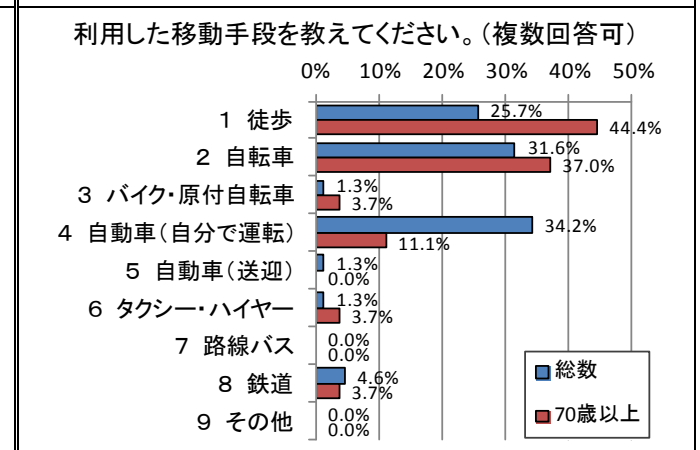
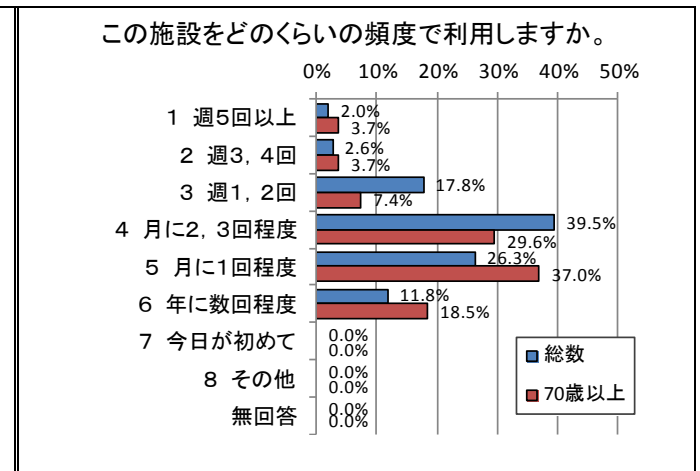
③白岡中央総合病院

●白岡中央総合病院は「月に1回程度」自動車を利用するとの回答の割合が高く、70歳以上の高齢者においてもほぼ同様の回答であった。



④埼玉りそな銀行白岡支店

●埼玉りそな銀行は「月に2, 3回程度」自転車や自転車で利用するとの回答の割合が高く、70歳以上の高齢者においては「月に1回程度」徒歩や自転車で利用するとの回答の割合が高かった。



白岡町地域公共交通町民検討会議の概要について

- 1 日常生活における移動について、約3割の方が「不便を感じている」との回答であった。
- 2 約3割の「不便を感じている」との回答の方は、買い物、通院、通勤・通学に「不便を感じている」回答の割合が高く、バスを利用したいがバス路線がないことなどを主な理由に挙げている。
- 3 今後、充実の必要があると思う「行き先」は、駅、町役場、医療機関などの回答の割合が高い。
また、公共交通の充実を図る際には、利用者はそれなりに応分の負担をすべきであるとの回答の割合が比較的高い傾向にある。
- 4 町内での移動実態について、通院では町の中央部に位置する医療機関への移動の割合が高い傾向にある。
また、買い物においても移動の距離は比較的短いものの町の中央部に位置するスーパーマーケットへの移動の割合が高い傾向にある。

1 設置目的

当町における地域公共交通に係る基本方針を策定するに当たり、町民からの意見、提言等を聴き、当該基本方針に反映させるため、白岡町地域公共交通町民検討会議を設置する。

2 委員構成（15人）

(1) 行政区長会からの推薦（4人）

地域・自治組織の推進者、地域活動の実践者としての見識を反映

(2) 民生委員・児童委員協議会からの推薦（2人）

福祉分野における地域の活動実践者としての見識を反映

(3) タクシー事業者（2人）

交通事業の提供者としての見識を反映

(4) 社会福祉協議会からの推薦（1人）

公共的福祉サービスの提供者としての見識を反映

(5) 老人クラブ連合会からの推薦（1人）

高齢者の自主的活動組織の推進者としての見識を反映

(6) 公募委員（4人）

公共交通の利用者としての生活に則した町民視点の意見を反映

(7) 有識者（1人）

公共交通に関する識者としての専門的かつ客観的な意見・見識を反映

3 会議開催

9月下旬から翌2月までの間に月1回程度通算5, 6回の会議を開催予定

4 委員任期

地域公共交通に係る基本方針の策定が完了する日まで（平成25年3月）